

1月 & 2月 無料プレゼント

『りすのかえりみち』

(冬の朝の、しずかな空気。足音が少しだけ響く)

……ただいま、って言うには、まだちょっと早い気がして。でも、行ってきます、でもないから、わたしは今、この道のまんなかにはいます。つめたい空気を吸うと、白い息が、ふわっと出て、ああ、生きてるなあって思いました。

お正月って、なんだか、きちんとしなきゃいけない日みたいで。あけましておめでとう、とか、今年こそ、とか。わたしには、ちょっとまぶしすぎました。

だから、外に出てみたんです。遠くまで行くつもりはなくて、ただ、歩いてみただけ。足の下で、土がきゅっ、と鳴って。枝が、こつん、と触れて。それだけで、十分でした。

(少し間) 歩いているうちに、気づいたんです。わたし、何かを始めに来たわけじゃなかったんだなって。決めごとも、目標も、持ってきてなかった。ただ、戻れる道があるかどうか、確かめたかっただけ。

(風がやわらかく通る) ほら、このあたりから、景色が、見覚えのある色になります。急がなくていい。ちゃんと、戻れる。それがわかっただけで、胸の奥が、少しあたたかくなりました。

(ふっと、小さく息を吐く) よし。今日は、ここまで。まだ寒いけど、ちゃんと、かえりみち。……行こう。

声のトビラ